

平成22年度
紙パルプ業界のEDI実態調査報告

平成23年6月

株式会社カミネット

はじめに

IT活用の上で、企業間取引での電子データ交換（EDI）の導入は、企業基盤の強化、経営戦略を構築する上で、欠かすことのできないものになっています。現在ではインターネットなどの通信インフラの普及が進み、各企業がEDIを活用することによって、業務と経営の効率化を実現することが求められています。

このような環境の下、次世代EDI推進協議会（JEDIC）では、国内におけるEDIの普及を推進するため、平成8年度（1996年度）よりEDI実態調査を実施し今回で15回目になります。

株式会社カミネットは、JEDICの会員である日本製紙連合会及び日本紙商団体連合会の要請を受け、JEDICの研究活動である各部会に参加していますが、18年度より業界4団体の積極的な協力を得て、EDI実態調査に参加しております。

今回のEDI実態調査は、505社発送のうち回収102社、回収率約20%と、前回とほぼ同様の回答率となっております。また団体毎の回答傾向にも大きな変化はありません。

設問の中で、EDIの導入効果については、ほとんどの企業が「事務の効率化、ミスの低減に役立っている。」と回答しており、EDIが効果のある業務インフラと定着しているものと思われます。

また今後は、印刷業界などの業際への展開が、大きな課題となっています。

この「紙パルプ業界のEDI実態調査報告」は、JEDICによる報告書と別に、業界4団体の委託を受けたカミネットが紙パルプ業界のみを分析し、報告書にまとめたものです。この報告書が当業界でのEDI利用度、効果・課題を整理する上で、参考になり同時にEDIの普及に役立てることができれば幸いです。

平成23年6月
株式会社カミネット

EDI実態調査の協力団体

- 日本製紙連合会
- 日本洋紙代理店会連合会
- 日本板紙代理店会連合会
- 日本洋紙板紙卸商業組合

アンケート調査結果のまとめ

○アンケートの回収率

	発送数	回収数	回収率
製紙連合会	12	8	67%
代理店会	32	12	38%
日紙商	461	82	18%
合計	505	102	20%

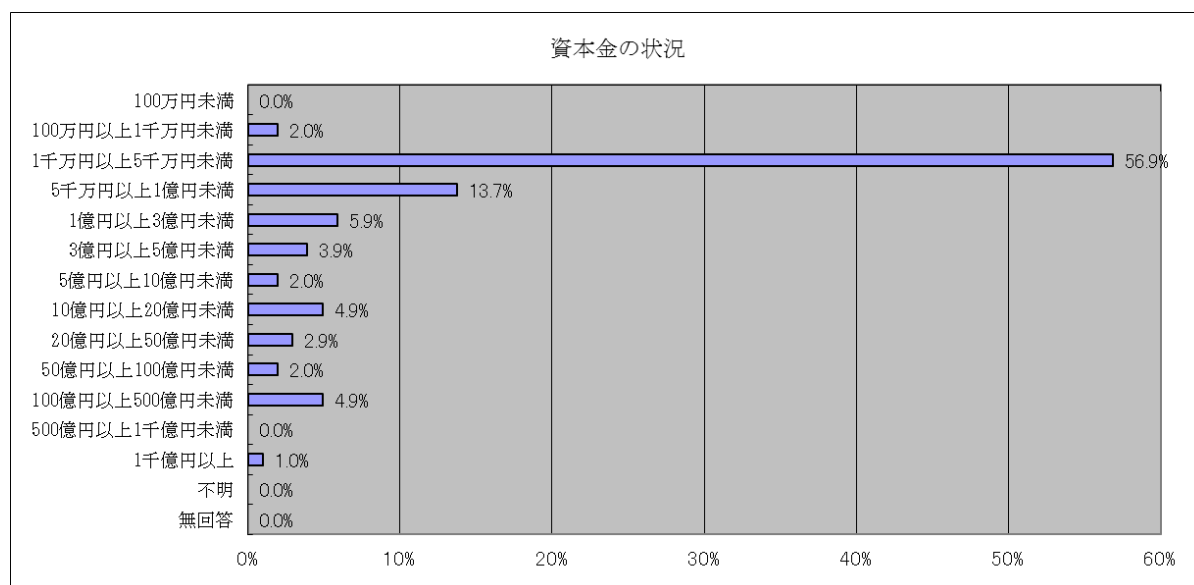
回収率は20%となり、前回と同様の結果となった。

アンケートの実施により、EDIの実施状況と今後の検討課題について貴重な情報が得られた。

○調査票 1

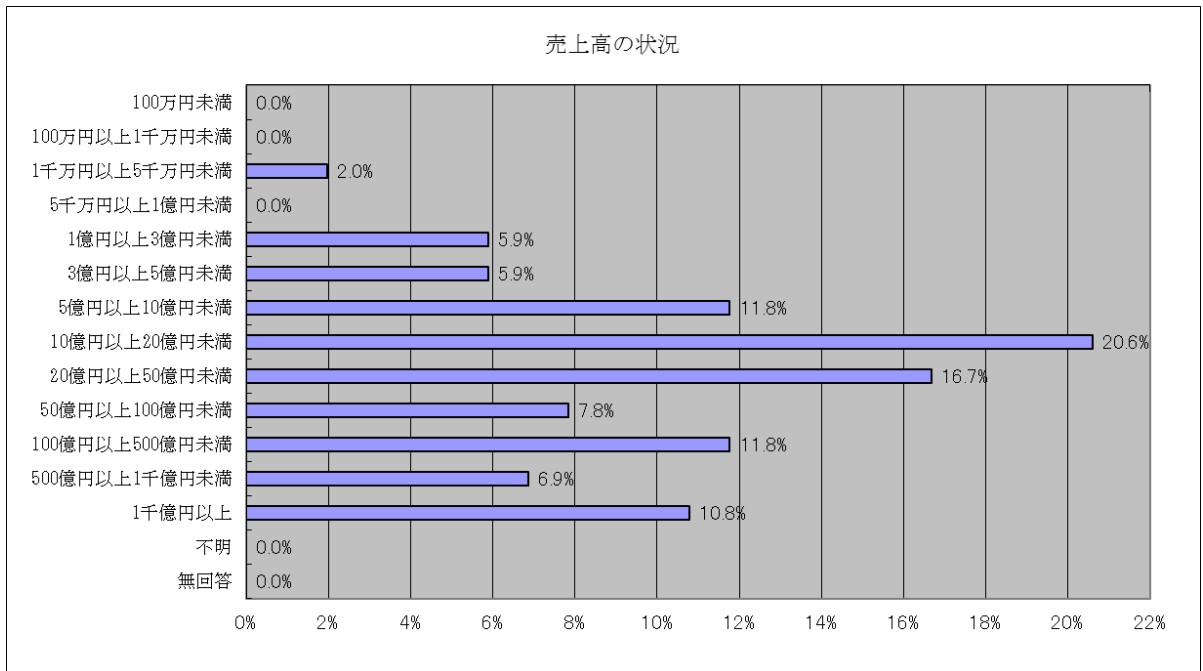
1. 回答企業のプロフィール

【問1】貴社のH22年3月末時点の資本金はどれくらいですか。



- ・全体の構成比では、1千万円以上5千万円未満がもっとも多く5割、1億円未満が7割を占める。
- ・製紙連合会加盟のメーカーは100億円以上が最も多く6割を占める。
- ・日紙商加盟の卸商では1千万円以上5千万円未満が最も多く5割を占める。

【問2】 貴社（ご回答部門）のH21年度の売上高はどれくらいですか。

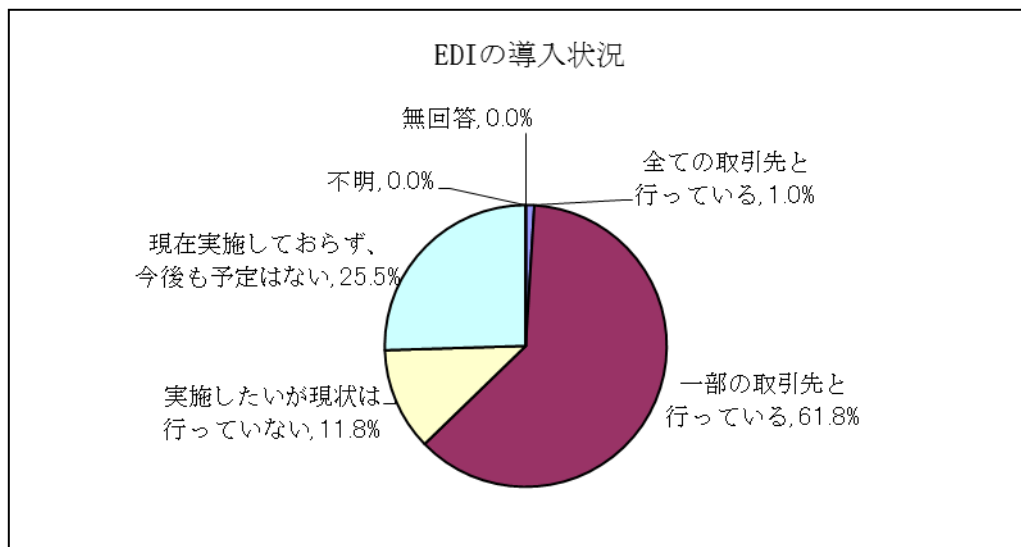


- ・売上高については、1千億円以上は、製紙連で6割、代理店は5割となっている。
- ・日紙商は、50億円未満が6割、50億円以上1千億円未満が3割、1千億円以上は1割である。

【問3】～【問6】割愛

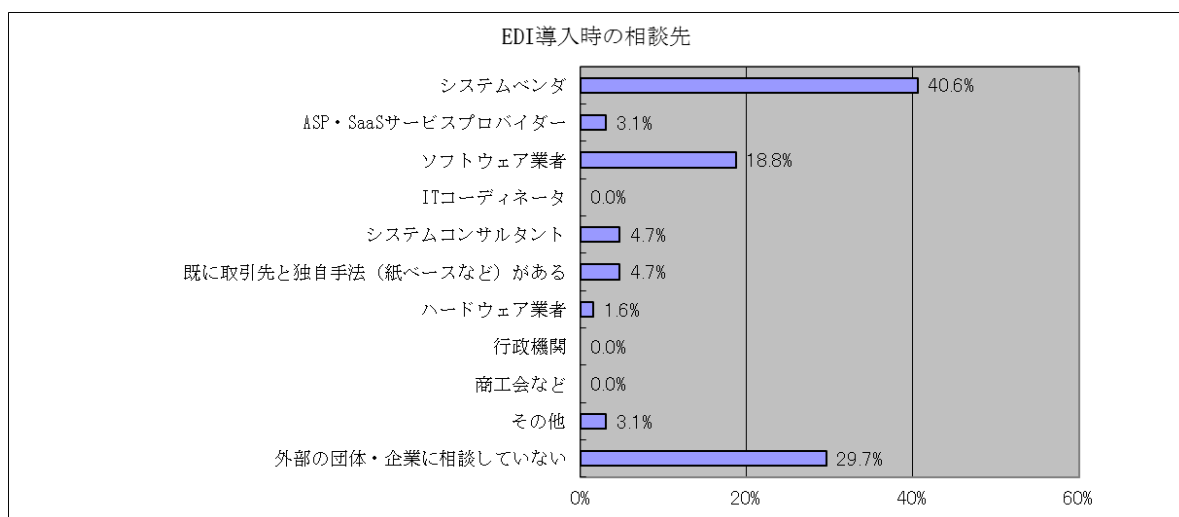
2. 国内企業との取引における EDI の導入状況について

【問 7】 貴社（ご回答部門）では国内企業との取引で、EDI を導入していますか。



- ・ 「一部の実行先で行っている」が最も多く全体で6割、「行っていない」「予定はない」が4割となった。

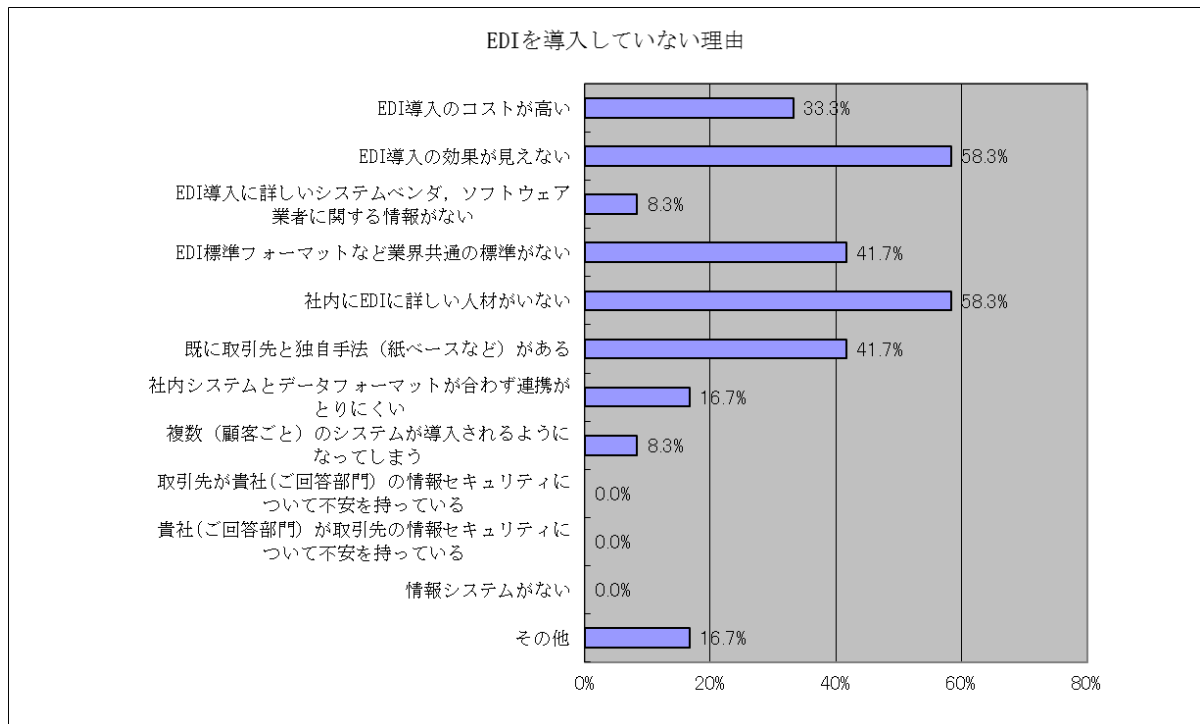
【問 8】 問 7 で「全ての取引先で行っている。」、「一部の実行先で行っている。」とお答えの方に伺います。EDI を導入されたとき、外部の団体・企業に有償でご相談されましたか。もしご相談された場合、どなたにご相談されましたか。3 つまでお答えください。



- ・ 製紙連合会、代理店会、日紙商で、5割以上が「システムベンダ」「ASP・SaaS サービスプロバイダー」「ソフトウェア業者」に相談している。

【問 9】 問 7 で「実施したいが現状は行っていない」とお答えの方に伺います。

EDI を導入していない理由は何ですか。3 つまでお答えください。



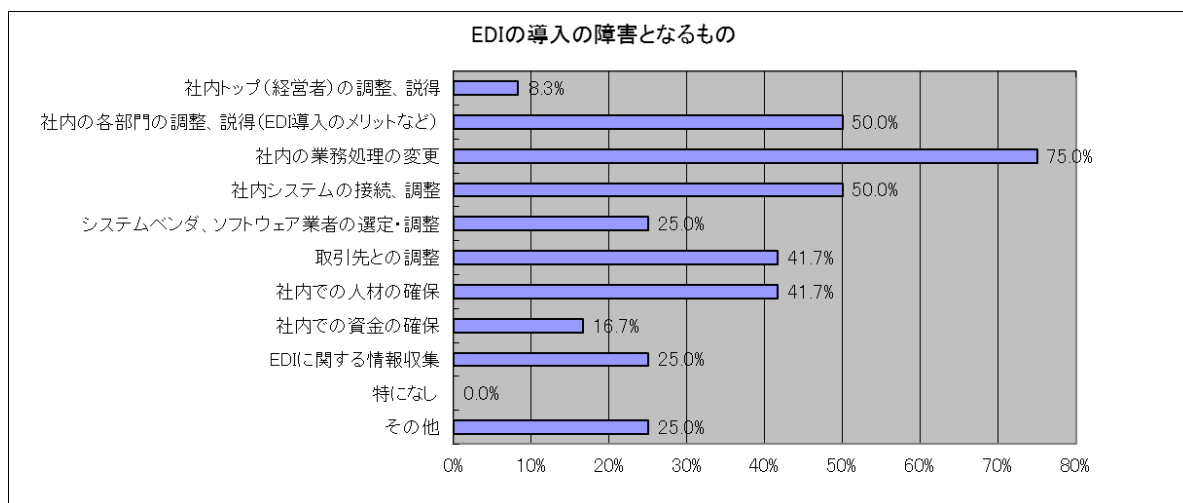
日紙商 12 社が「実施したいが現状は行っていない」と回答した。

実施できない理由として

- ・ EDI 導入のコストが高い
- ・ EDI 導入の効果が見えない
- ・ EDI 標準フォーマットなど業界共通の標準がない
- ・ 社内に EDI に詳しい人材がない
- ・ 既に取り先と独自手法（紙ベースなど）があるが上げられている。

【問 10】 問 7 で「実施したいが現状は行っていない」とお答えの方に伺います。

EDI をこれから始める際に障害となるとと思われる点について、3 つまでお答え下さい。



日紙商 12 社が「実施したいが現状は行っていない」と回答した。

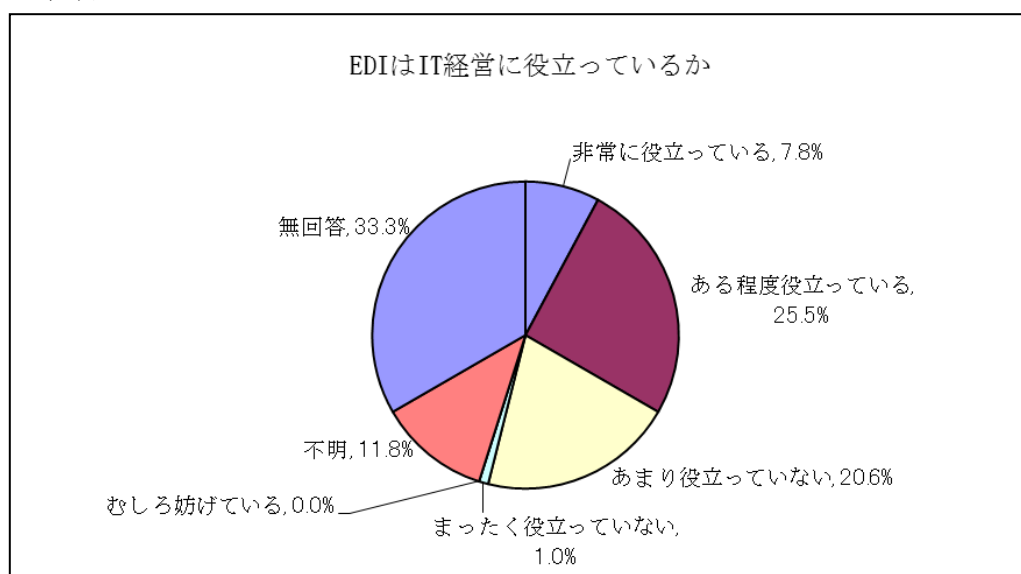
- ・ EDI を始める障害として、「社内業務処理の変更」が最も多かった。
- ・ 「社内の各部門の調整、説得」「社内システムの接続、調整」といった回答も多かった。

3. EDI の導入効果について

【問 11】 EDI の導入は IT 経営や業務改革、売り上げの拡大等に役立っていますか。

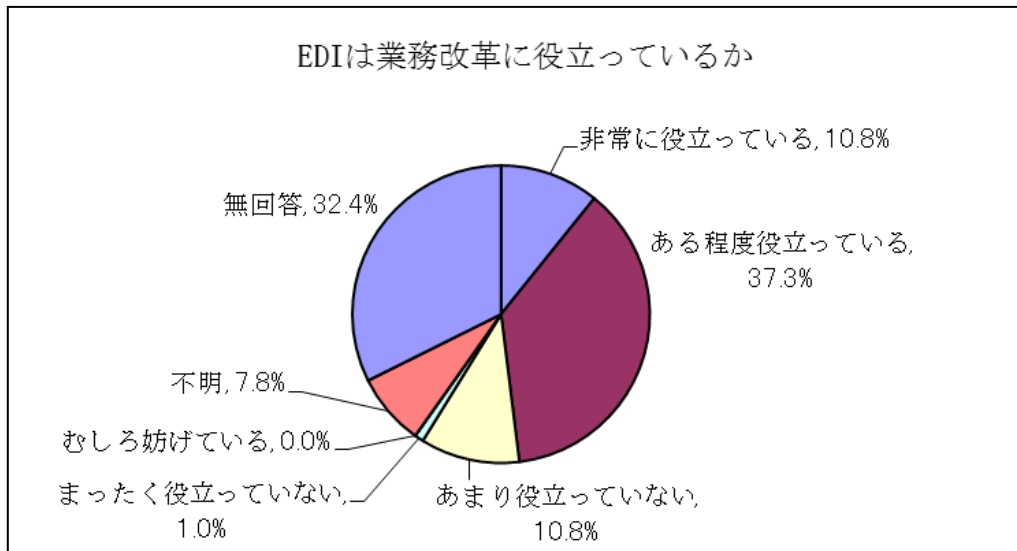
それぞれの効果についてお答えください。

1) IT 経営



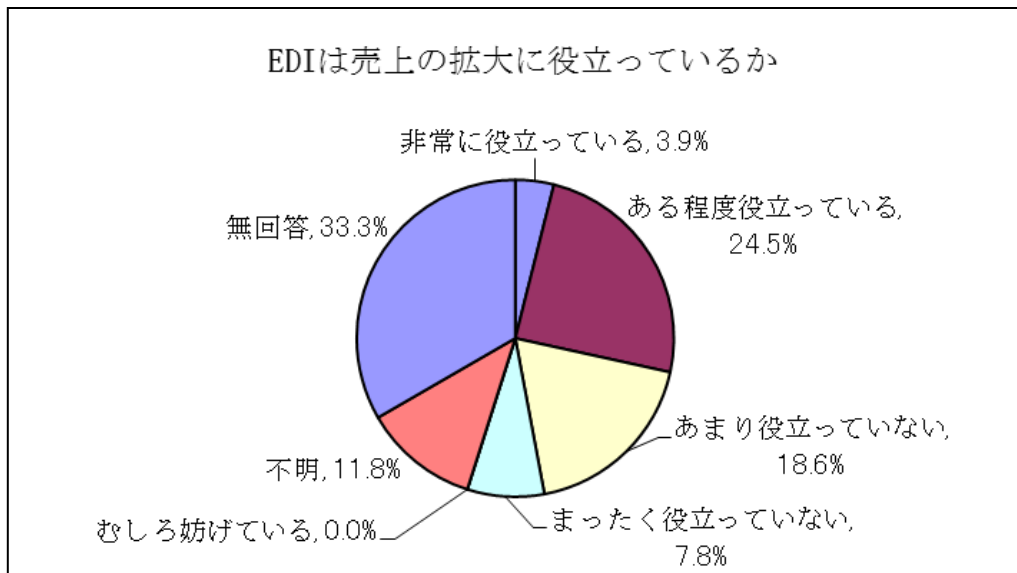
- ・ 「非常に役立っている」「ある程度役立っている」は製紙連では 4 割、代理店では 7 割、日紙商では 4 割に低下し、「あまり・まったく役立っていない」も全体で 2 割あった。

2) 業務改革



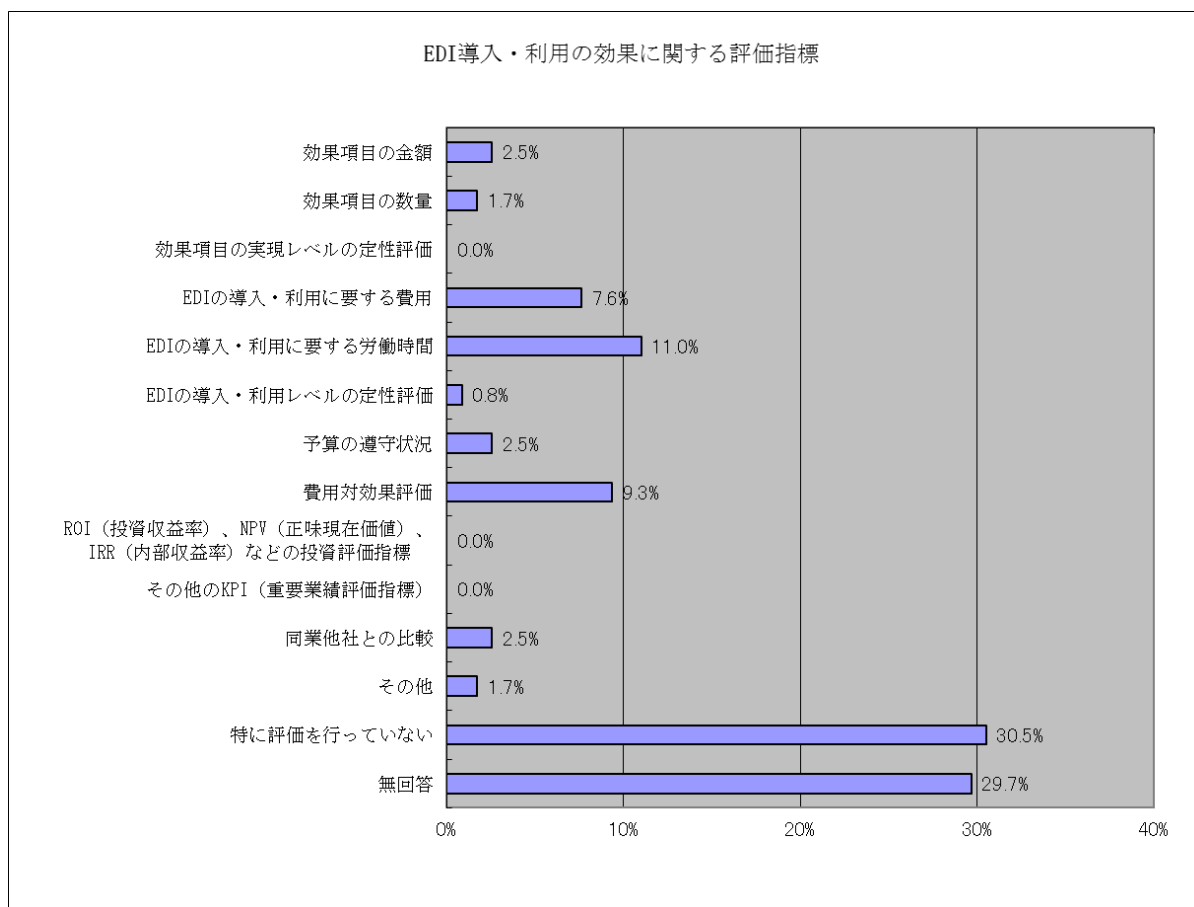
- ・「非常に役立っている」「ある程度役立っている」は製紙連では9割、代理店では全社だったが、日紙商では4割となった。
また、日紙商では、「あまり・まったく役立っていない」も1割あった。

3) 売上の拡大

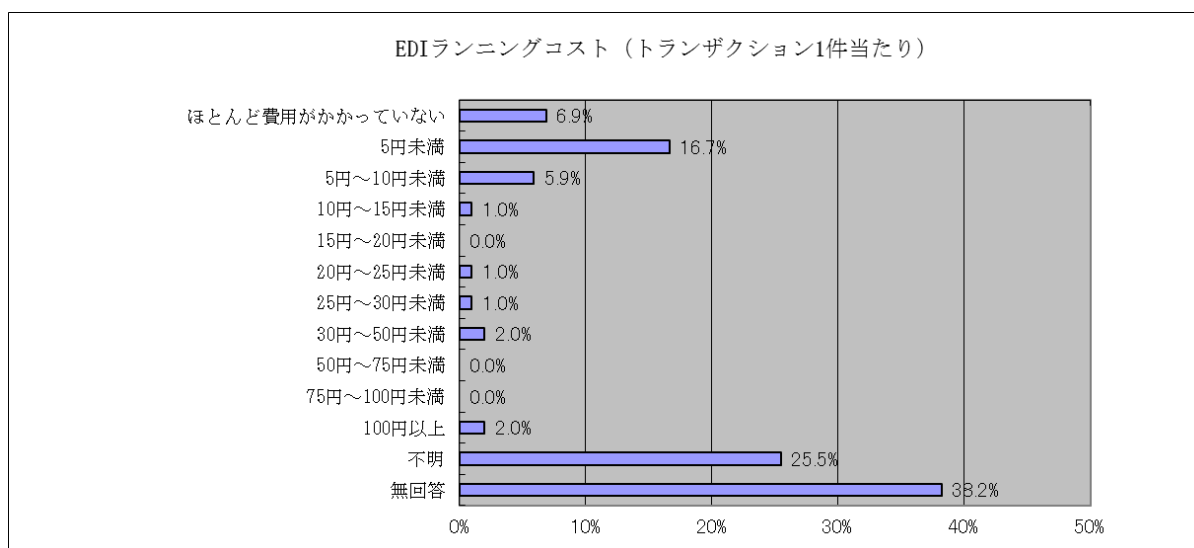


- ・「非常に役立っている」「ある程度役立っている」は製紙連、代理店では9割前後であったが、日紙商では1割となった。
また、日紙商では、「あまり・まったく役立っていない」が3割あった。

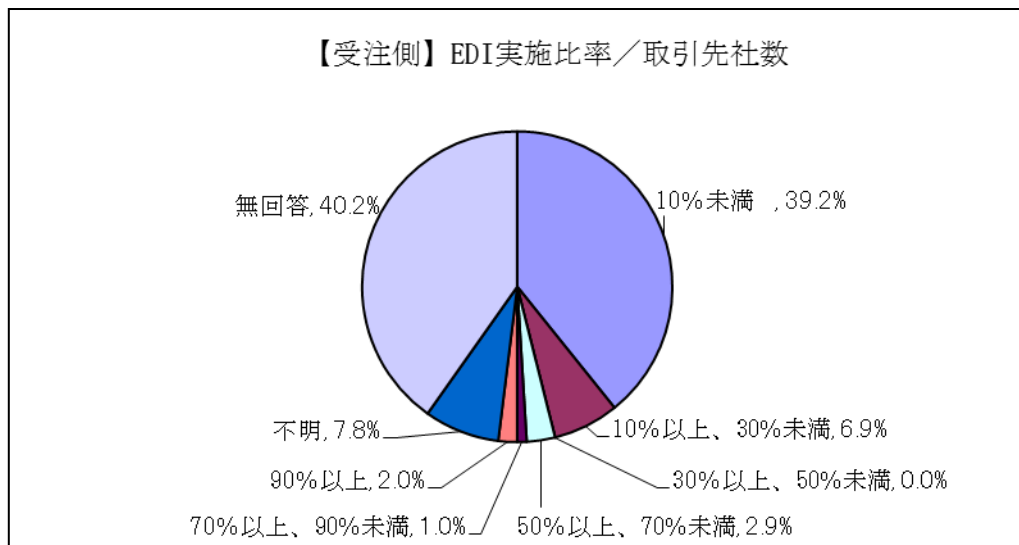
【問 12】 貴社（ご回答部門）では EDI の導入・利用の効果について評価されていますか。
 評価されている場合、どのような指標を用いていますか。5つまでお答えください。



【問 13】 貴社（ご回答部門）では EDI のランニングコストとして、トランザクション 1 件あたり
 どれだけかかっていますか。

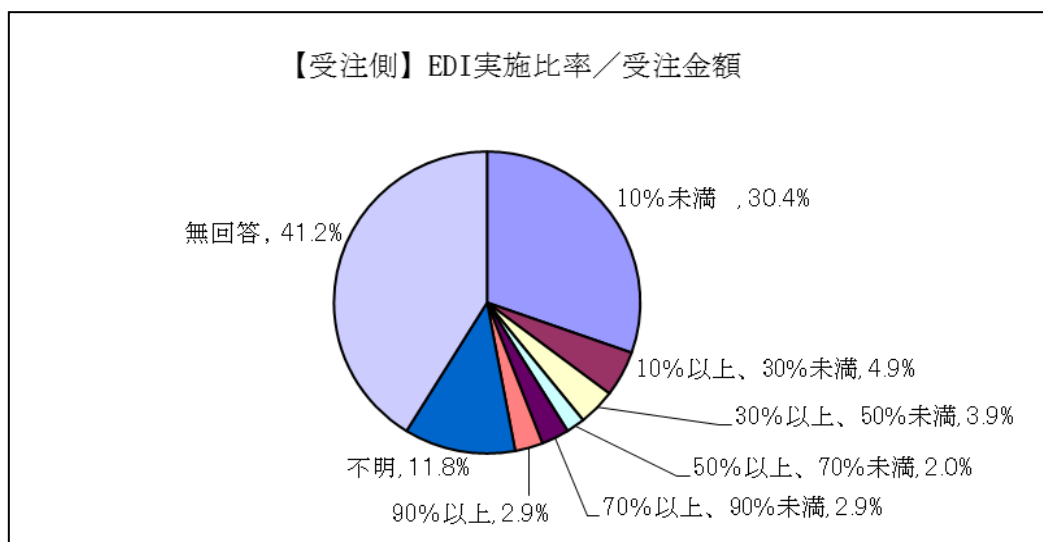


【問 14】 貴社（ご回答部門）が受注者の立場で EDI を実施している場合、取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。



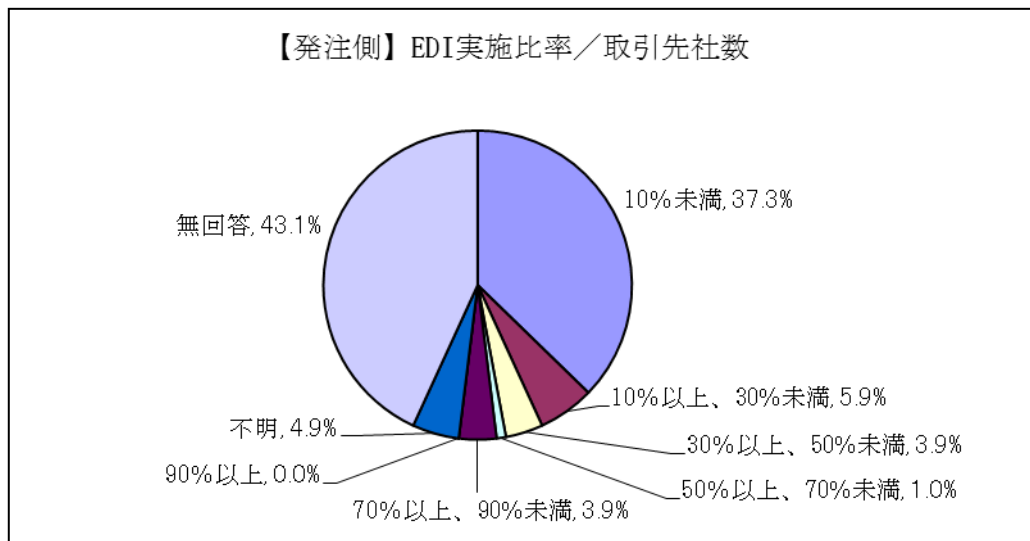
- ・取引先件数に占める受注者側での利用率は、製紙連では70%以上が4割となった。
- ・代理店、日紙商では10%未満が全体を占め、流通の受注者側での利用率は低い。

【問 15】 貴社（ご回答部門）が受注者の立場で EDI を実施している場合、受注金額の何%が EDI で取引されていますか。（1つだけ）



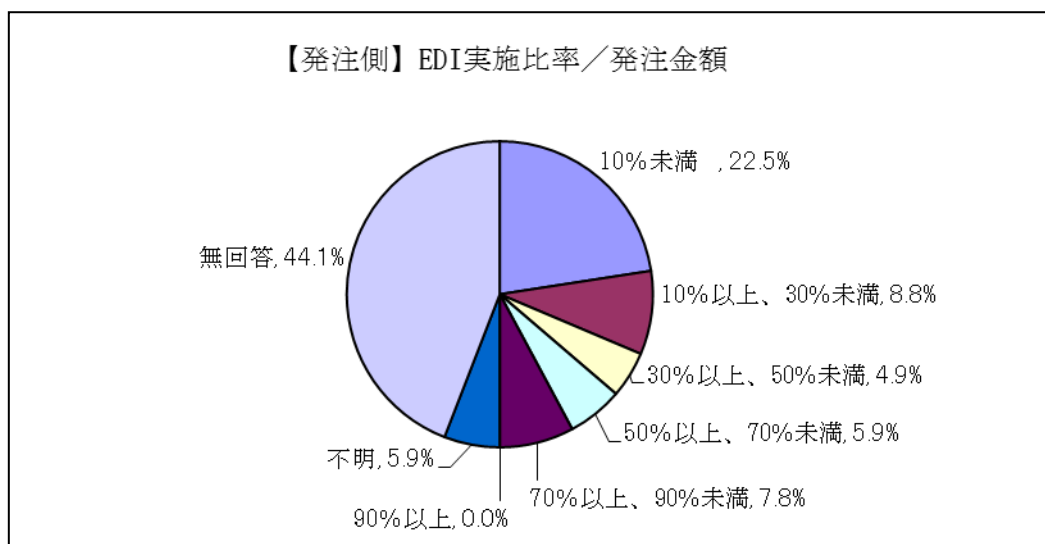
- ・受注件数についても問 14 と同様な傾向であり、製紙連では利用率が高いが流通は低い。

【問 16】 貴社（ご回答部門）が発注者の立場で EDI を実施している場合、取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。



- 全体では 10%未満が 4 割近くを占める。
- 製紙連では 10%未満は 3 割であるが、代理店、日紙商では各々 5 割、4 割であった。

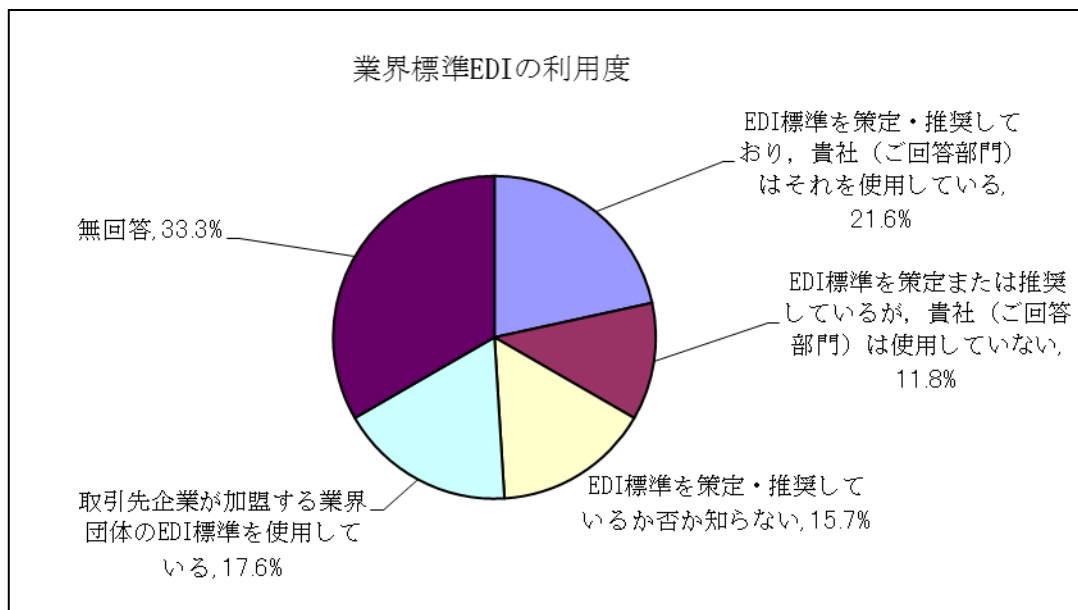
【問 17】 貴社（ご回答部門）が発注者の立場で EDI を実施している場合、発注金額の何%が EDI で取引されていますか。



- 製紙連、日紙商は、問 14 と同様の傾向であるが、代理店では 70%以上が 3 割となった。

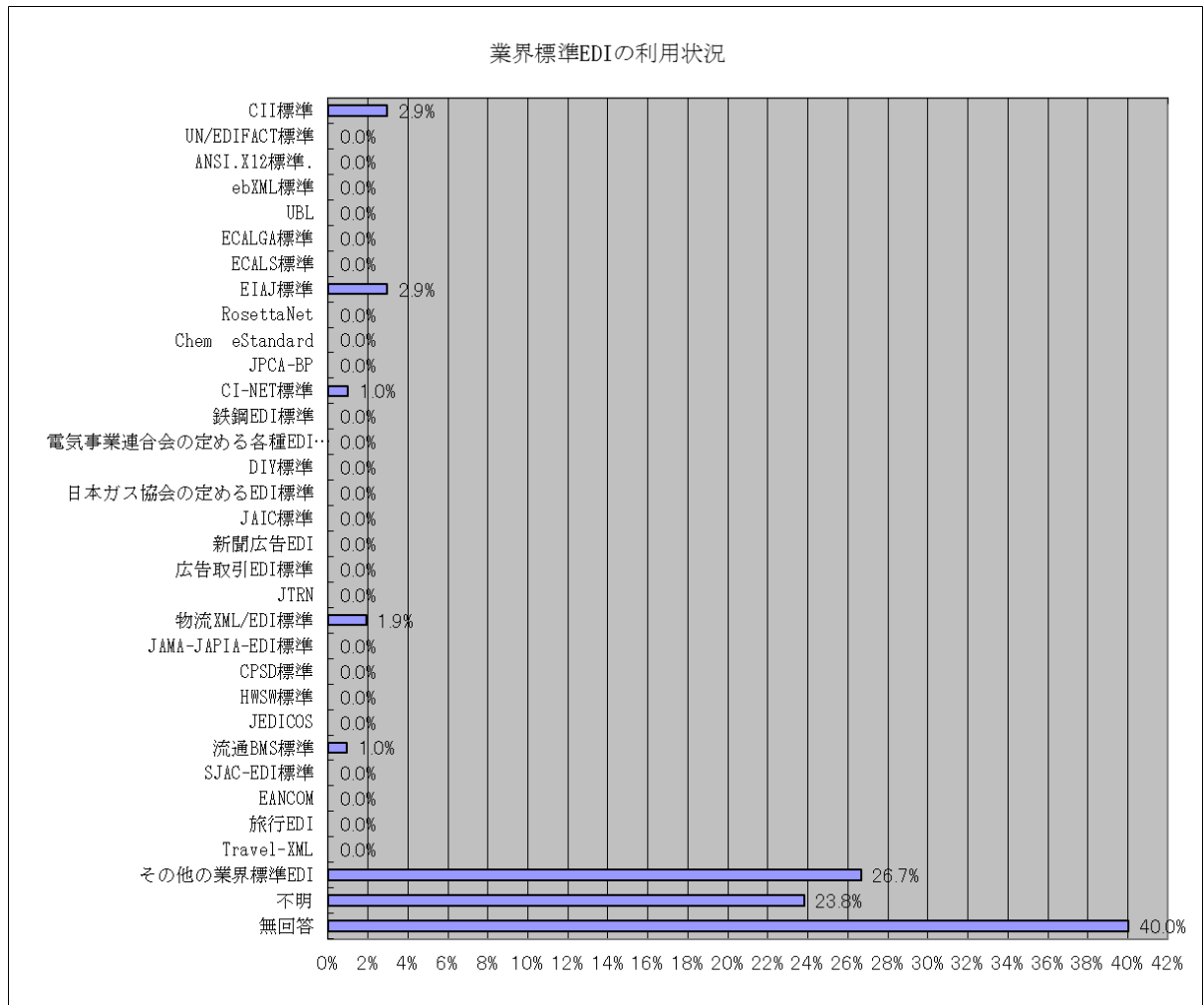
4. 業界の標準 EDI について

【問 18】 貴社（ご回答部門）が所属する業界の EDI 標準についてお答えください。（1つだけ）



- 業界の EDI 標準の利用状況については、全体で「使用している」が 2 割、「使用していない」が 1 割となっている。
- EDI 標準について「策定・推奨しているか否か知らない」も 2 割あった。

【問 19】 貴社（回答部門）では、主にどの業界標準 EDI を利用されていますか。8 つまでお答えください。



○調査票 4

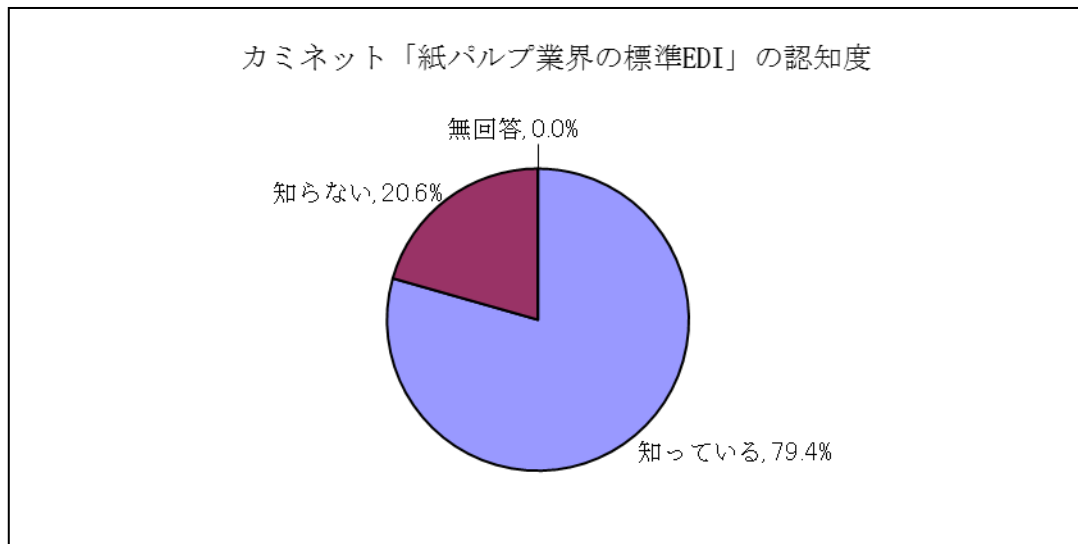
1. 紙パルプ業界の標準 EDI (カミネット) について 【問 1】 加盟団体は割愛

【問 2】 「紙パルプ業界の標準 EDI」はカミネットが下記の管理・運営を行っています。

①紙パルプ業界の統一標準コード (品名コード, 取引先コード) の運用管理

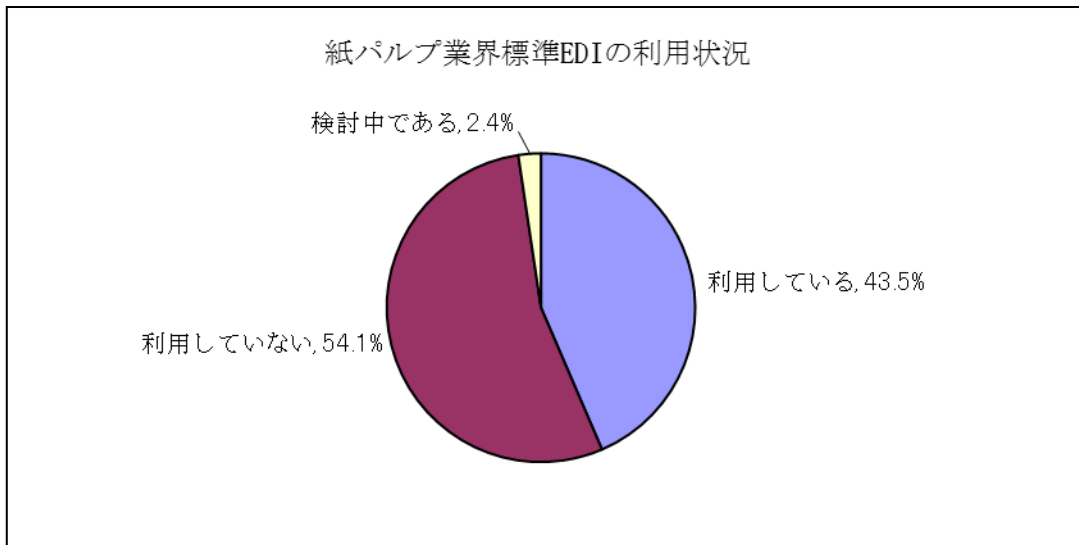
②業界 EDI の標準化と推進, 企業間データ交換システム (P-EDI, 紙パ流通 VAN) の運用

そこで質問ですが, カミネットが管理・運営する「紙パルプ業界の標準 EDI」をご存知でしたか。



・カミネットが運営する「紙パルプの標準 EDI」については、全体では約 8 割が「知っている」と回答した。ただし日紙商では「知らない」と答えた会社も約 2 割あった。

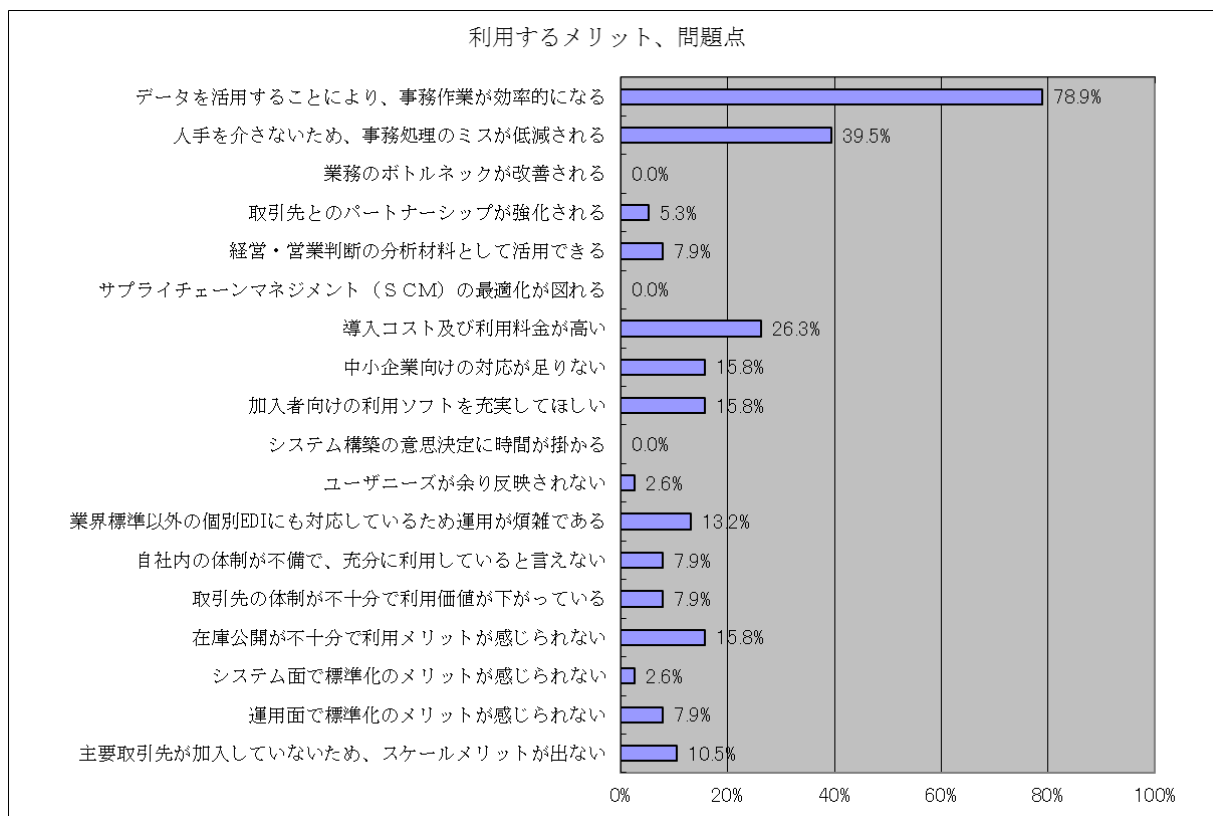
【問3】 問2で「知っている」とご回答した方にお尋ねします。
「紙パルプ業界の標準EDI」を利用していますか。



- 全体では「利用している」4割、「利用していない」5割となった。
- 業態別では代理店の9割が利用しており、次いで製紙連が5割、日紙商が3割となっている。

【問4】問3で「利用している」とご回答の方にお尋ねします。

現在利用してお感じになっているメリット、問題点などを5つまでお答えください。



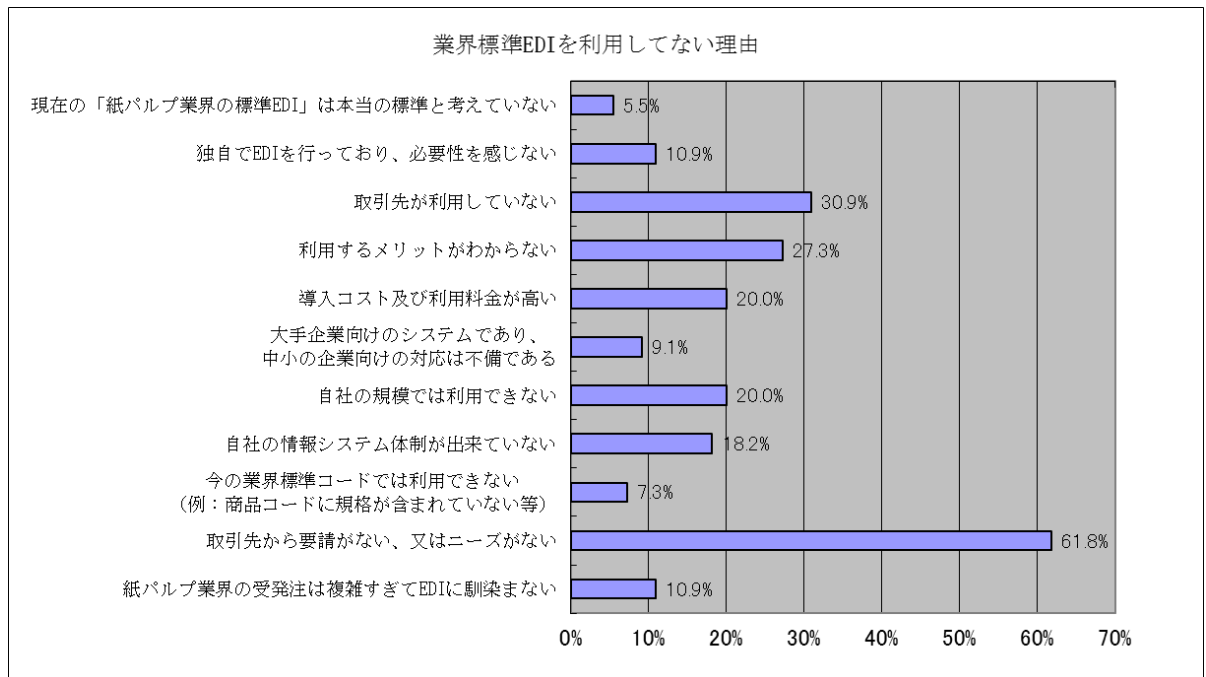
EDI を利用するメリット面の上位

1. 事務作業の効率化
2. 事務処理のミス低減

EDI を利用する上での問題点の上位

1. 導入コスト及び利用料金が低い。
2. 中小企業向けの対応が足りない。
3. 加入者向けの利用ソフトを充実してほしい。
4. 在庫公開が不十分で利用メリットが感じられない。

【問5】問3で「利用していない」とご回答の方にお尋ねします。
その理由をお聞かせ下さい。 3つまでお答えください。



EDI を利用していない理由の上位

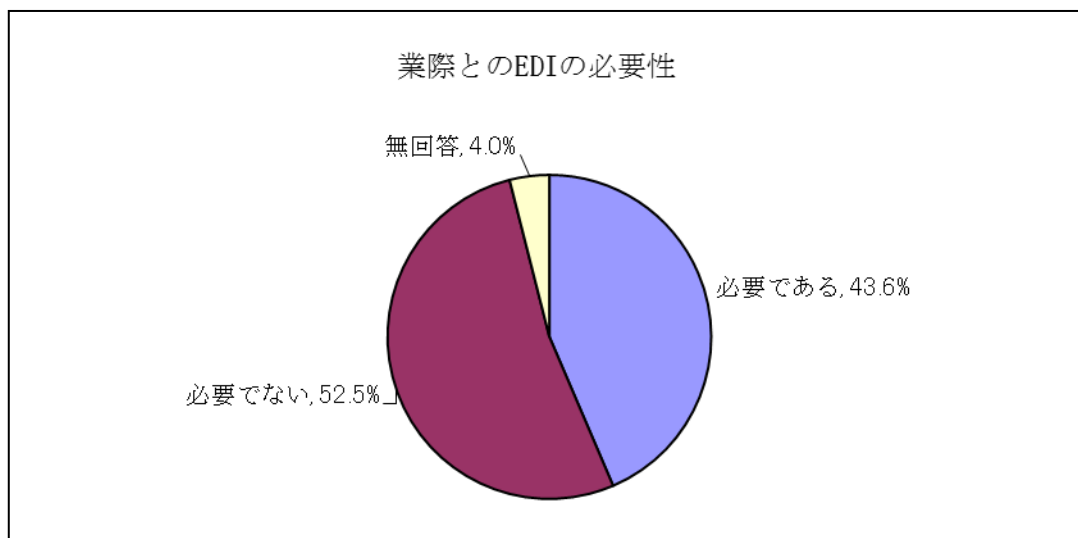
1. 取引先から要請がない、又はニーズがない。
2. 取引先が利用していない。
3. 利用するメリットがわからない。
4. 導入コスト及び利用料金が低い。自社の規模では利用できない。
5. 自社の情報システム体制が出来ていない。

2. 業際企業との EDI について

【問 6】 業界外（業際）企業との EDI についてお尋ねします。

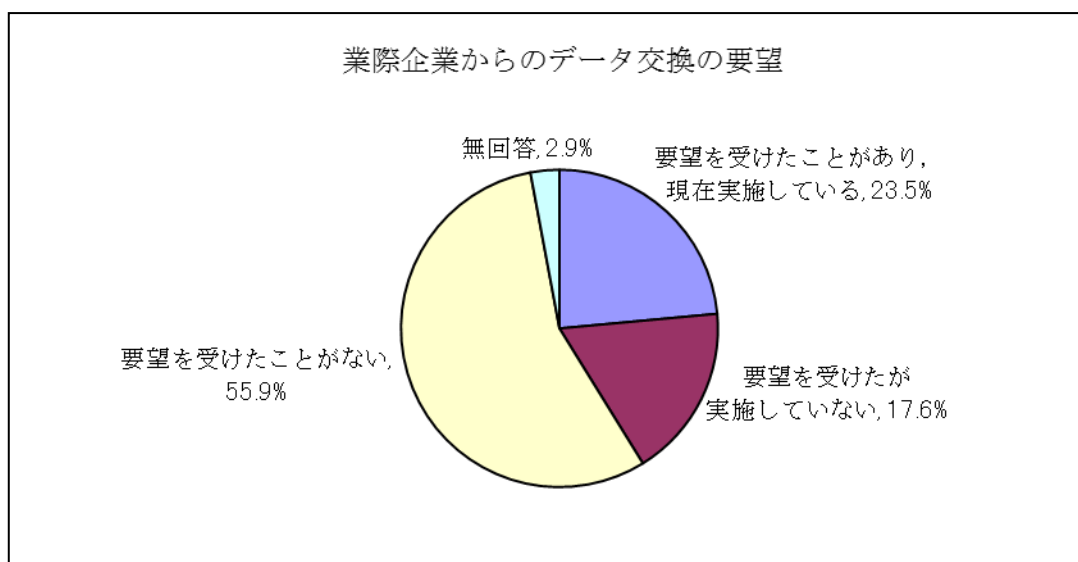
（例：印刷会社，出版社，加工会社，等）

現在、業界外（業際）企業との EDI は必要と考えておりますか。



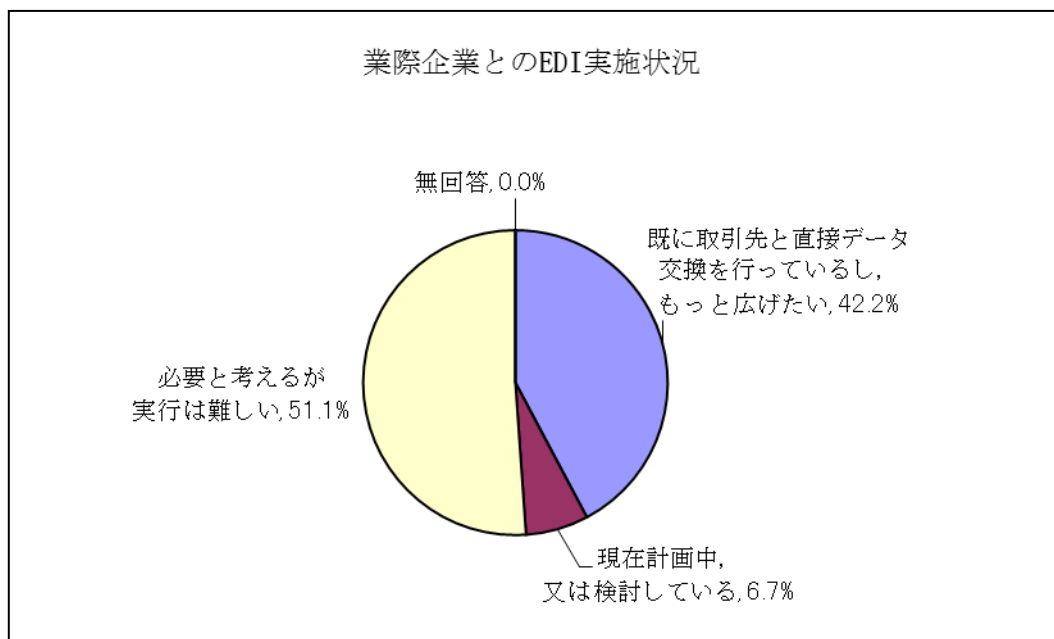
- ・業際企業との EDI の必要性については、「必要である」が 4 割、「必要でない」も 5 割ある。

【問 7】 業界外（業際）企業から受発注等のデータ交換の要望を受けたことがありますか。



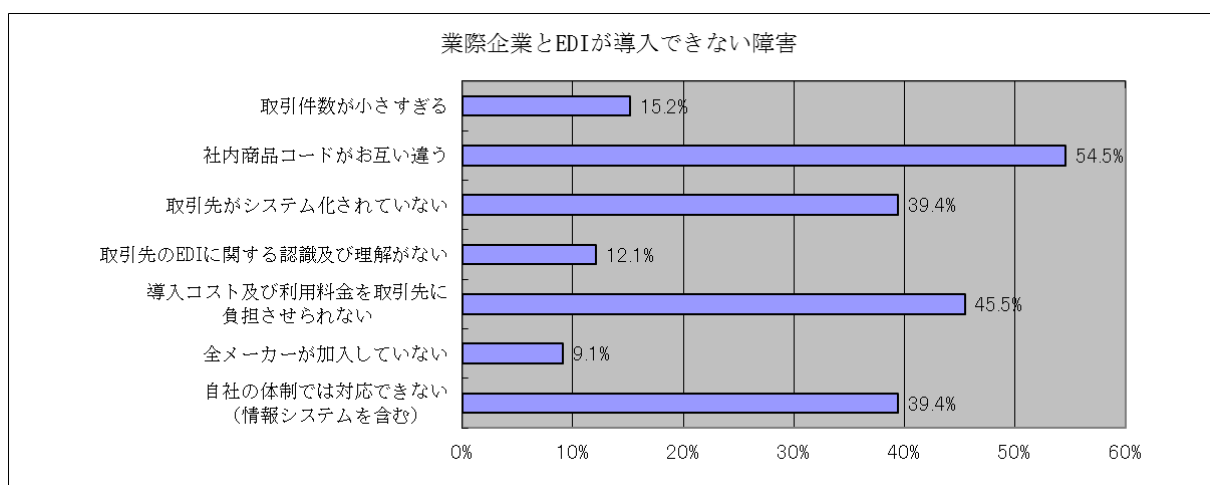
- ・業際からのデータ交換については、全体では半数以上が要望を受けたことがない。
- ・代理店は 7 割が実施している。日紙商では、要望を受けたことがない割合が高く 6 割、実施している割合も低く 2 割となっている。

【問 8】 問 6 で「必要である」とお答えの方にお尋ねします。
 業界外（業際）企業との EDI 導入の状況をお答え下さい。



- ・業際企業との EDI については、全体では半数が「実行は難しい」と考えている。
- ・代理店の実施率は高いが（7 割）、日紙商では必要性はあるものの実行は難しいと考えているところが多い。

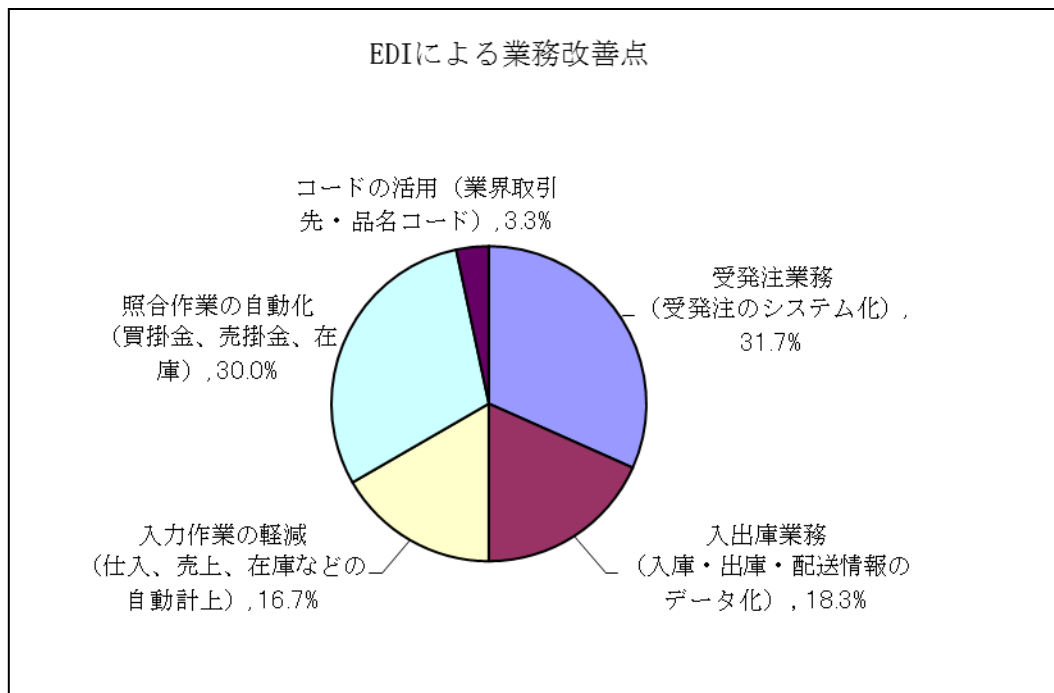
【問 9】 問 8 で「必要と考えるが実行は難しい」とお答えの方にお尋ねします。
 業界外（業際）の取引先との EDI が導入できない障害は何だと思いますか。



- ・業際取引先との EDI が導入できない理由は、「社内商品コードの違い」「導入コスト・利用料金を負担させられない」「取引先がシステム化されていない」などが多い。

3. EDI 導入による業務改善点について

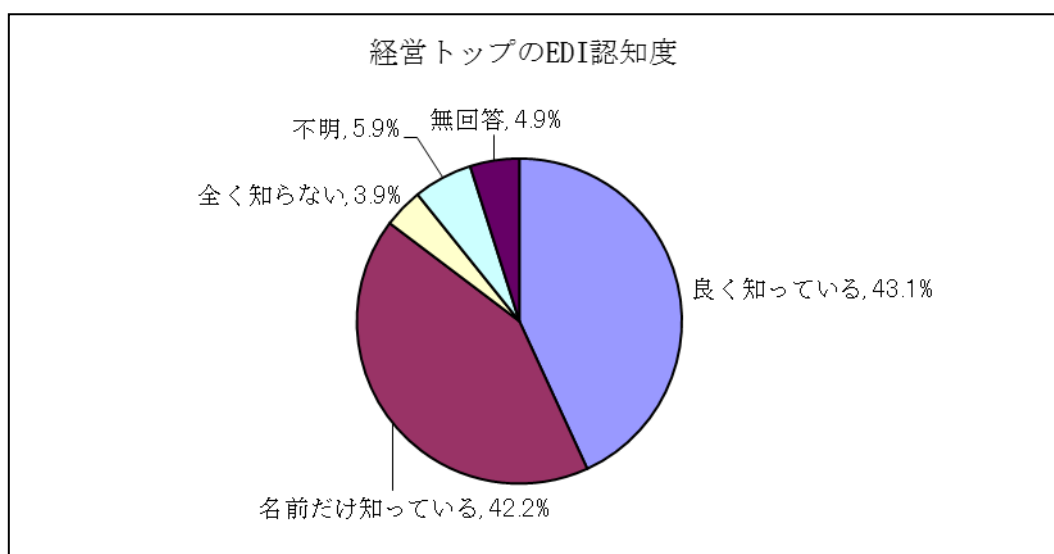
【問 10】 EDI を導入して、業務を改善したい点がありますか。（1つだけ）



・EDI で改善したい業務については、全体で「受発注業務」、「照合作業の自動化」、「入出庫業務」の順に多い。

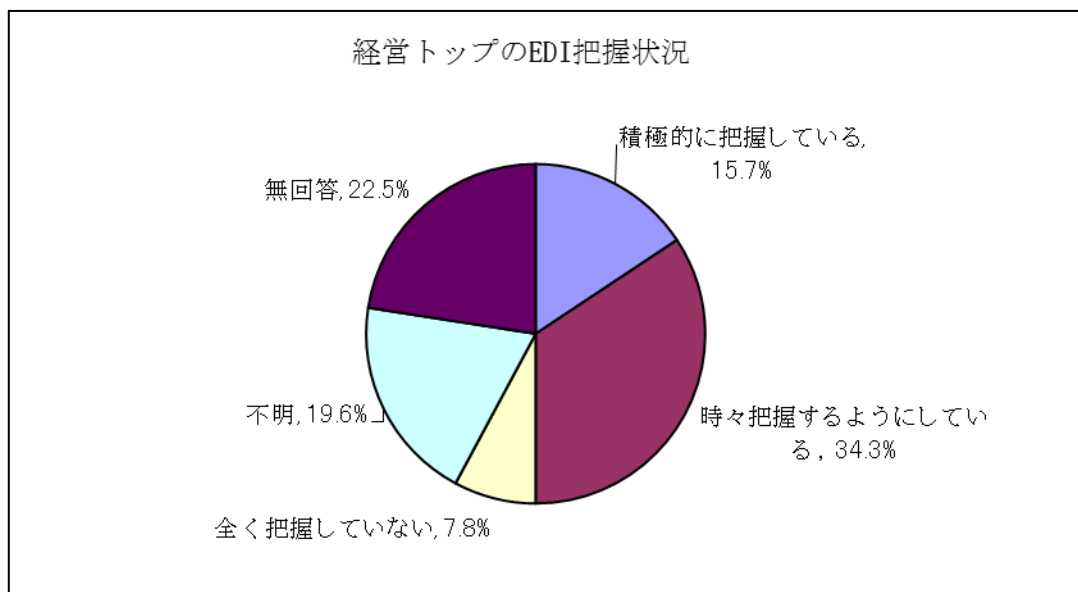
4. 経営トップの認知度などについて

【問 11】 御社の経営トップは、EDI についてご存知でしょうか。（1つだけ）



・経営トップの EDI に対する認知度は、全体では「良く知っている」が 4 割、「名前だけ知っている」も含めると、8 割以上と高い。

【問 12】 導入後について、経営トップはその運用状況や効果を把握されていますか。（1つだけ）



・経営トップは、5割が、「積極的に・時々把握している」ようにしており、運用状況や効果について関心がある。

4. その他自由意見

【問 13】「紙パルプ業界標準 EDI」への要望その他ご意見、ご要望があれば自由に記入してください。

(製紙連合会)

- ・特になし

(代理店会)

- ・倉庫業や運輸業が行う入出庫、在庫数量などのデータ交換について EDI システムの裾野を広げて行ってほしい。

(日紙商)

- ・もう少し簡略化して欲しい。
- ・EDI を広めたければ業界コードは無償で公開すべきである。デジタル世界は先ず無償が基本である。
- ・各社商品コードが違うため、導入が広がり難い。また、コードが長すぎるのも問題である。

以 上